

平成26年度第2回 山科区民まちづくり会議

日時：平成26年12月4日（木）午後1時30分～

場所：山科区役所 2階 大会議室

議 事 次 第

1 開 会

2 議 事

（1）平成27年度山科“きずな”支援事業（区民提案型支援事業）について

資料1

（2）平成27年度共汗型事業について

資料2

（3）第2期山科区基本計画の実施状況に係る取組の評価について

資料3

（4）次年度に向けた議論について

資料4

3 閉 会

山科区民まちづくり会議委員名簿

平成26年11月現在：五十音順（計43名）※敬称略

氏 名	所属等	備 考
浅井 定雄	公募委員	
安達 慶一	山科消防署長	
市川 正三	山科区農業団体連絡協議会会長	欠席
稲留 京香	公募委員	
井上 喜久三	山科区老人クラブ連合会副会長	代理 勢志信義
江口 悟	東部農業振興センター所長	
大川原 康夫	山科防犯協会会長	欠席
大河内 清子	一般社団法人京都手をつなぐ育成会山科支部支部長	
太田 八十一	山科区民生児童委員会会長	
岡本 洋	山科の歴史を知る会代表	欠席
片岡 滋夫	山科区保育園保育所協議会会長	
川崎 弘一	山科美化推進企業協議会会長	
川中 長治	山科消防団団長，一般社団法人山科経済同友会会長	
川村 竜生	京都橘大学	欠席
北村 秀明	山科区自治連合会連絡協議会会長会代表	
木下 文男	山科区身体障害者団体連合会会長	
栗本 芾子	山科区地域女性連合会副会長	欠席
小池 泰夫	東部文化会館館長	
小暮 宣雄	京都橘大学現代ビジネス学部教授・現代ビジネス学部長	
坂手 貴	山科警察署長	
佐久間 友子	京都市私立幼稚園協会山科地区代表	欠席
佐治 俊彦	山科保健協議会連合会副会長	欠席
澤 美彦	山科医師会会長	欠席
澤田 清一	山科区交通安全対策協議会会長	欠席
朱 まり子	NPO法人山科醍醐こどものひろば前理事長	
高野 正義	上下水道局山科営業所長	
出竿 賢治	NPO法人おこしやす“やましな”協議会会長	欠席
中嶋 恵二	山科区体育振興会連合会会長	
仲田 義明	山科図書館長	
西村 弘滋	京都市立中学校長会東山・山科支部理事	欠席
野崎 栄美子	京都市児童館学童連盟山科地区代表	

氏 名	所属等	備 考
林 統一郎	山科地域防犯推進委員協議会会長	代理 宮川敬一
平野 一男	山科少年補導委員会副会長	
藤井 豊	東部土木事務所長	欠席
藤村 徹	京都市小学校長会山科支部長	欠席
正木 隆之	山科青少年活動センター所長	
水本 誠二	山科まち美化事務所長	欠席
村井 喜治	社会福祉法人京都市山科区社会福祉協議会事務局長	
森 正美	京都文教大学総合社会学部教授	
柳生 昌保	山科区自治連合会連絡協議会会長会副代表	
山尾 正行	清水焼団地協同組合事務局長	欠席
吉川 直毅	京都市中学校 PTA 連絡協議会山科支部長	欠席
和田 肇	上下水道局みなみ下水道管路管理センター山科支所長	

事務局（山科区役所職員等）名簿

氏 名	役 職 等	備 考
石黒 善治	区 長	
石田 忠彦	副区長（地域力推進室長・区民部長）	
藤川 直哉	副区長（税務長）	
塩見 徹也	副区長（福祉部長）	
鍋田 淑華	副区長（保健部長）	欠席
山口 佳子	地域力推進室総務・防災課長	
野村 征理代	地域力推進室まちづくり推進課長	
山本 恵果	地域力推進室企画係長	
服部 恭幸	地域力推進室主任	
石嶋 知哉	地域力推進室係員	
佐藤 友一	文化市民局地域自治推進室まちづくりアドバイザー （山科区主担当）	
田尾 純子	文化市民局地域自治推進室まちづくりアドバイザー （山科区副担当）	
西原 秀倫	文化市民局地域自治推進室まちづくりアドバイザー	
吉田 泰基	文化市民局地域自治推進室まちづくりアドバイザー	

平成 27 年度山科 “きずな” 支援事業（区民提案型支援事業）について

平成 27 年度の山科 “きずな” 支援事業（区民提案型支援事業）では、今年度に引き続き、山科ならではの地域力を活かした取組について、区民の皆様からの提案を募集し、区民の皆様の主体的なまちづくりを支援していきます。

平成 27 年度は、区民の皆様の主体的なまちづくりをしっかりとサポートするため、助成金の交付のほか、以下の事業を行います。

（１）まちづくり講座の実施

区民の皆様の主体的なまちづくりをサポートするため、山科 “きずな” 支援事業の支援団体を中心に、区内でまちづくり活動に取り組んでおられる方を対象に、活動に役立つまちづくり講座を実施します。

（２）報告会の実施

平成 25 年度から、山科 “きずな” 支援事業の支援団体間の交流を図るため、交流会を実施していましたが、支援団体間の交流だけでなく事業の成果を広く発信するため、成果報告会を実施します。

（３）報告書の作成

平成 24 年度～26 年度の支援対象事業の事業内容やその成果を紹介する冊子を作成し、ひろく情報発信します。

山科“きずな”支援事業について

1 概要等

(1) 目的

第2期山科区基本計画が目指す「心豊かな人と緑の“きずな”のまち山科」の実現に向けて、

区民、地域団体、NPO法人、大学等との「共汗・協働」によるまちづくりを推進する。

(2) 対象事業

「第2期山科区基本計画」の実現に向けて、平成26年度中に区内で実施される事業を対象とする。

- 自然を守り環境美化・保全を進める事業
- まちの魅力・観光を磨き高める事業
- 交通環境の利便性の向上につながる事業
- 保健・福祉・子育て支援の充実につながる事業
- 地域のつながりを強める事業
- 暮らしの安心・安全を高める事業 など

(3) 対象団体

区内で対象となる事業を実施する地域団体やグループ等（地域団体、各種団体、NPO法人、大学・専修学校など。）

(4) 支援内容等

ア 地域団体等	地域団体、NPO法人、グループ等が行うまちづくり活動や事業	【補助限度額】
		総事業費10万円超 1事業 30万円
		総事業費10万円以下 1事業 10万円
		【交付率】1年目3/4以内、2年目以降1/2以内
イ 大学等	大学等と区民との共汗・協働による事業や交流事業など	【補助期間】1年
		【補助限度額】1事業 30万円
		【交付率】10/10以内
		【補助期間】1年

※ アについて、無報酬での労力の提供に対して、補助限度額の範囲内で、1人1時間当たり500円、最高5万円まで補助金交付額を加算

※ 同一事業での採択は3年を上限

平成27年度の共汗型事業（案）について

平成27年度の共汗型事業では、山科ならではの地域力を活かした協働型まちづくりを推進していくため、以下の事業について、山科区民まちづくり会議での議論を踏まえ、実施してまいります。

1

地域の防災力アッププロジェクト

新規

【事業の趣旨・内容】

区内の全避難所（32か所）の運営マニュアルの実効性を高めるため、全学区の自治連合会会長、自主防災会会長、社会福祉協議会会長等の地域役員を対象に、研修会を実施する。ワークショップ形式でのシミュレーションや意見交換を行うことで、避難所運営マニュアルの内容を点検する。当該研修を受けて、各学区の全避難所においても、避難所運営訓練や研修会を実施するとともに、避難所運営に必要な資機材（ブルーシート、LED懐中電灯）を配備する。



防災訓練

2

やましなお誕生おめでとう事業（仮称）

新規

【事業の趣旨・内容】

子育て家庭を地域ぐるみでサポートするため、地域の民生委員・児童委員による乳児家庭への訪問・育児相談を行う。サロンや情報誌等の地域の子育て支援情報や主任児童委員等の役割を伝えるとともに、虐待のおそれのある要支援家庭の早期発見や継続的な子育て支援を図る。



やましなっこひろば

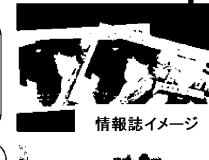
3

やましな子育て情報発信事業（仮称）

新規

【事業の趣旨・内容】

区内の関係機関が実施している子育て支援事業の情報や乳幼児期の子育てのポイントをまとめた情報誌を発行する。やましなっこひろば等を活用し、孤立しがちな未就園児を持つ家庭を中心に配布し、子育て支援施設や制度の利用を促す。



情報誌イメージ

4

山科・感動ツーリズム推進事業

【事業の趣旨・内容】

地元住民、交通事業者、旅行会社等との協働の下、山科地域の潜在的な観光資源の掘り起し、磨き上げを行い、山科地域の観光振興を図るとともに、京都観光の地域的な分散化や地下鉄東西線の乗客増を図る。



随心院マルシェ

5

やましなGOGOカフェ

【事業の趣旨・内容】

山科に関心を持つ人が出会い、つながる場、活動へのアイデアを育てるための場、行動のきっかけが見つかる場としてのカフェを定期的に開催する。



カフェの様子

6

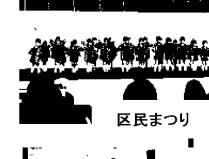
山科区民ふれあい事業

【事業の趣旨】

区民の山科区への愛着意識の高揚や、区民相互のふれあいを深めること、また、山科区の魅力を広く発信することを目的に、区民と区役所の共汗・協働による事業を行います。

【実施事業】

- ・ふれあい“やましな”区民まつり
- ・ふれあい“やましな”区民ふれあい文化祭
- ・ふれあい“やましな”区民史跡の探訪
- ・山科区フラワーロード推進事業



区民まつり

7

その他、山科区ならではの地域力を活かした事業

【事業の趣旨】

その他、「第2期山科区基本計画」を着実に推進するため、区内で実施する観光イベントを総合的に情報発信する観光振興事業、環境先進区としての環境を守り継ぐ事業等を行います。

【実施事業】

- ・京都・やましな観光ウィーク
- ・山科区民まちづくり会議の運営
- ・山科区地下鉄駅周辺おでかけマップの作成
- ・山科区2万人まち美化作戦
- ・山科区エコアクションNo.1宣言
- ・山科区フリースペースの設置・運営
- ・やましなっこひろばの運営
- ・健康づくりサポーター「キャットハンズ」と歩く健康ウォーキング



エコアクションNo.1宣言

平成 27 年度の共汗型事業「山科区民ふれあい事業」及び 「その他、山科区ならではの地域力を活かした事業」についての概要

1 山科区民ふれあい事業

(1) ふれあい“やましな”区民まつり

子どもからお年寄りまで、障がいのある方もない方も相互に交流し、ふれあいを感じあえる場として、地域の振興と活性化を図ることを目的に、音楽やダンスのステージ、各種啓発コーナーや模擬店などを開催します。また、模擬店でリユース食器等を使用するなど、環境にやさしいまつりを行います。

(2) ふれあい“やましな”区民ふれあい文化祭

ア 「区民芸能フェア」

地域文化の振興と育成を図り、区民相互の交流と連帯を深めることを目的に、区民の芸能発表の場として、舞踊や歌など趣向を凝らした演目を披露します。

イ 「区民ギャラリー」

地域文化の振興と育成を図り、区民相互の交流と連帯を深めることを目的に、文化・芸術活動の場として、絵画や書道など区民から寄せられた作品を展示します。

(3) ふれあい“やましな”区民史跡の探訪

山科の魅力をより深く知り、愛着を深めていただき、得られた知識を語り部として子供や他の人に伝え、山科の魅力が広がっていくことを目的として、「京都山科東西南北」で紹介された山科の歴史的・文化的な史跡をはじめとする「山科の魅力」を探訪します。

(4) 山科区フラワーロード推進事業

花と緑にあふれた潤いのある美しいまちづくりを推進するため、公募のボランティア「花と緑のまちづくりサポーター」により、区役所前花壇やＪＲ山科駅前等への四季折々の花の植栽のほか、各地域の花づくりグループと連携し、幹線道路沿いの植樹帯への花の植栽の支援を行います。

2 その他、山科区ならではの地域力を活かした事業

(1) 京都・やましな観光ウィーク

秋の観光シーズンを京都・やましな観光ウィークとして位置づけ、紅葉が美しい時期に山科の各地で実施されるイベントを支援・広報することにより、山科の魅力を発信し、観光客の誘致につなげます。

(2) 山科区民まちづくり会議の運営

第2期山科区基本計画（以下「計画」という。）について、区民・地域団体・企業・事業者・大学・行政等の「共汗・協働」により推進するとともに、山科ならではの地域力を活かした協働型のまちづくりを推進するため、山科区民まちづくり会議を開催し、計画の進捗管理や区民提案・共汗型まちづくり支援事業の推進を図ります。

(3) 山科区地下鉄駅周辺おでかけマップの作成

バスや地下鉄の路線図や時刻表といった情報を分かりやすくし、マップとして提供することにより、公共交通機関が便利であるということを地域住民に理解していただき、地下鉄を中心とした公共交通機関の利用促進と利便性向上を図ります。

(4) 山科区2万人まち美化作戦

ごみのない美しいまちづくりを推進するため、学区内の一斉清掃、門掃き、違反広告物の撤去に取り組みます。

なお、当取組は約2万人の区民の参加を目標とします。

(5) 山科区エコアクションNo.1宣言

市内で最もエコアクションが進んだ区を目指し、地域や各家庭における地球温暖化対策、2R（ごみの発生抑制、再使用）の推進を図る取組等を行います。

(6) 山科区フリースペースの設置・運営

区民・地域福祉関係者との共汗・協働により、高齢者も子育て世代も障害者も気軽に立ち寄れる「フリースペース」を設置・運営します。

現在、区内6箇所で各週1回程度「フリースペース」を開設し、地域におけるちょっとした休憩や交流の場として利用していただいています。26年度中に5箇所、27年度は2箇所の増設を図ります。

■開所しているフリースペース

山階学区：山科醍醐こどものひろば、山科総合社会福祉会館

陵ヶ岡学区：笑顔とふれあいの家みささぎ

大宅学区：るまんやましな

百々学区：清水焼団地センター

大塚学区：ふれあいスペース絆

(7) やましなっこひろばの運営

保育園や幼稚園に通っていない就学前の子どもとその保護者を対象に、子どもの健全育成を推進するとともに、地域の子育て支援機関同士の顔の見える関係づくりを進めるため、地域子育て支援ステーションや主任児童委員が孤立しがちな

子育て家庭が参加しやすい地域の公園へ出向き、遊びの提供や子育て相談を行います。

(8) 健康づくりサポーター「キャットハンズ」と歩く健康ウォーキング

地域の健康増進・生活習慣病対策について保健センターと共に考え、活力あるまちづくりを目指すボランティアである健康づくりサポーター「キャットハンズ」を主体とし、年間複数回のウォーキングを実施します。区内の見所を取り入れたコースを設定し、区民に山科の歴史と自然に触れながら歩く楽しさや正しいウォーキング方法をサポーターから伝えることで、自らの健康は自らがつくるとの意識につなげ、継続的な健康づくりを実践する機会を作ります。

また、参加者が他の住民を誘い、健康づくりの輪を広げることで住民同士の結びつきを強め、より健康でかつ魅力のあるまちづくりへとつなげていきます。

平成26年度の共汗型事業について

平成26年度の共汗型事業では、山科ならではの地域力を活かした協働型まちづくりを推進していくため、山科区民まちづくり会議で御議論いただいた内容を踏まえ、以下の事業を実施しました。

1

京都橘・山科カレッジ(仮称)のオープン

新規

【事業の趣旨・内容】

京都橘大学との地域連携協定締結(平成25年9月)の記念事業として、京都橘大学との共催により、山科の歴史、文化、産業等の支援を知り、体験できる区民向け公開講座を実施。

開催日 7月19日(土)、8月2日(土)、9月6日(土)、10月25日(土)、11月8日(土)、12月6日(土)



カレッジ風景

2

やましなGOGOカフェの運営

新規

【事業の趣旨・内容】

まちづくりに関心のある区民同士が出会い、交流を深め、行動のきっかけを見つける場として開催。

開催日 5月24日(土)、7月19日(土)、9月6日(土)、11月29日(土)、1月22日(木)、3月8日(日)



カフェの様子

3

一目でわかる防災情報(保存版)の作成

新規

【事業の趣旨・内容】

全ての山科区民が大規模災害発生時に、迅速かつ円滑な避難を行ってもらうために、日頃から備えておいてもらいたいことや、避難所などの位置図、京都市避難所運営マニュアルの概要を分かりやすく掲載した「市民しんぶん(山科区版)」の挟み込みを作成し、配布。(9月15日号)



一目でわかる防災情報

4

山科・感動ツーリズム推進事業

【事業の趣旨・内容】

地元住民と行政、交通事業者、旅行会社等との協働の下、山科地域の潜在的な観光資源の掘り起し、磨き上げを行い、山科地域の観光振興を図るとともに、京都観光の地域的な分散化や地下鉄東西線の乗客増を図る。

【実施事業】

- ・毘沙門堂のライトアップ
- ・感動！やましなサポータークラブの結成
- ・サポータークラブによる事業の実施
- ガイドマップの作成、プレゼントラリー、マルシェ、まちバル
- ・やましな大冒険 等



毘沙門堂ライトアップ

5

山科区民ふれあい事業

【事業の趣旨】

区民の山科区への愛着意識の高揚や、区民相互のふれあいを深めること、また、山科区の魅力を広く発信することを目的に、区民と区役所の共汗・協働による事業を行います。

【実施事業】

- ・ふれあい“やましな”区民まつり
- ・ふれあい“やましな”区民ふれあい文化祭
- ・ふれあい“やましな”区民史跡の探訪
- ・山科区フラワーロード推進事業



山科区フラワーロード推進事業

6

その他、山科区ならではの地域力を活かした事業

【事業の趣旨】

その他、「第2期山科区基本計画」を着実に推進するため、区内で実施する観光イベントを総合的に情報発信する観光振興事業、環境先進区としての環境を守り継ぐ事業等を行います。

【実施事業】

- ・京都・やましな観光ウィーク
- ・山科区民まちづくり会議の運営
- ・山科区地下鉄駅周辺おでかけマップの作成
- ・山科区2万人まち美化作戦
- ・山科区エコアクションNo.1宣言
- ・山科区フリースペースの設置・運営
- ・やましなっこひろばの運営
- ・健康づくりサポーター「キャットハンズ」と歩く健康ウォーキング

やましなっこひろば
in草薙ノ内児童公園

「第2期山科区基本計画」に基づく取組の 平成25年度実施状況に係る評価結果について

「第2期山科区基本計画」に基づく取組の平成25年度の「実施又は未実施」等を参考に「50の取組」全てについて、達成度を4段階で評価していただいた結果です。

- 4点…できている。
- 3点…どちらかというとできている。
- 2点…どちらかというとできていない。
- 1点…できていない。
- わからない（空白）

基本施策 1		平均点	4点	3点	2点	1点	空白	24年度 平均点	23年度 平均点
環境を守り継ぐ		3.06	(件数)	(件数)	(件数)	(件数)	(件数)	3.04	3.10
1	①まちの水・緑の充実	3.30	9	17	1	0	16	3.20	3.20
2	②公園・緑地等の整備と適切な管理	2.93	5	15	7	0	16	2.92	3.02
3	③自然環境の保全・回復	3.07	5	21	1	1	15	3.05	3.05
4	①低炭素社会づくりによる地球温暖化対策の推進	2.67	2	14	11	0	16	2.73	2.89
5	①ごみの発生抑制と資源循環型社会の構築	3.21	7	21	1	0	14	3.15	3.24
6	②廃棄物対策の充実と環境美化	3.15	6	19	2	0	16	3.13	3.21
7	①環境学習の充実	3.12	5	19	2	0	17	3.08	3.11

基本施策 2		平均点	4 点	3 点	2 点	1 点	空白	24年度 平均点	23年度 平均点
まちの魅力・観光を磨く		2.96	(件数)	(件数)	(件数)	(件数)	(件数)	2.96	3.02
8	①山科の魅力の発信	3.48	14	12	1	0	16	3.33	3.37
9	②歴史資源等の保全・活用と新たな魅力づくり	3.11	6	18	3	0	16	3.31	3.22
10	③観光基盤の整備	2.74	6	8	13	0	16	2.73	2.98
11	①伝統産業の活性化と観光活用	2.74	5	10	12	0	16	2.83	2.92
12	②農地の保全と観光農業の展開	2.50	0	13	13	0	17	2.63	2.75
13	③伝統産業・農業の担い手支援	2.56	2	10	13	0	18	2.54	2.83
14	①わがまち山科を知る機会の充実	3.17	8	18	3	0	14	2.98	2.90
15	②生涯学習活動の展開	3.17	6	22	1	0	14	3.10	3.03
16	③文化・芸術活動の振興	3.07	7	15	5	0	16	2.92	3.08
17	①区民スポーツの振興	3.44	14	11	2	0	16	3.37	3.30
18	②スポーツ・レクリエーションのリーダー養成	2.58	1	13	12	0	17	2.82	2.90

基本施策 3		平均点	4 点	3 点	2 点	1 点	空白	24年度 平均点	23年度 平均点
交通・都市基盤を強化する		2.52	(件数)	(件数)	(件数)	(件数)	(件数)	2.60	2.76
19	①幹線道路網の交通対策	2.48	2	11	12	2	16	2.62	2.75
20	②安全で快適な道路空間の整備	2.28	2	6	14	3	18	2.36	2.51
21	③山科を楽しめる歩行者ネットワークの整備	2.32	1	8	14	2	18	2.42	2.64
22	④交通安全対策の強化	3.00	6	15	4	1	17	2.95	3.02
23	①公共交通ネットワークの充実	2.59	2	13	11	1	16	2.64	2.73
24	②パークアンドライド／サイクルライドの促進	2.17	1	6	12	4	20	2.24	2.37
25	①災害に強い都市構造の形成	2.43	1	12	13	2	15	2.63	2.88
26	②魅力ある拠点づくり	2.50	1	13	13	1	15	2.65	2.88
27	③良好な景観の保全と創出	2.93	3	19	5	0	16	2.86	3.05

基本施策 4		平均点	4 点	3 点	2 点	1 点	空白	24年度 平均点	23年度 平均点
保健・福祉・子育て支援を充実させる		2.97	(件数)	(件数)	(件数)	(件数)	(件数)	3.05	3.13
28	①母子保健の充実	3.04	2	22	1	0	18	3.03	3.23
29	②就学前教育・保育の充実	3.07	5	20	3	0	15	3.16	3.17
30	③放課後児童対策の充実	3.11	5	20	2	0	16	3.20	3.18
31	④地域子育て支援の充実	3.11	4	23	1	0	15	3.10	3.30
32	⑤学校教育等の充実	3.08	5	18	3	0	17	3.10	3.06
33	⑥青少年の健全育成	2.88	4	14	7	0	18	3.03	3.10
34	①障がいのあるひととその家族への生活支援の充実	2.96	3	20	2	1	17	3.08	3.09
35	②障がいのあるひとの社会参加を守る環境づくりの推進	2.96	4	18	3	1	17	3.03	3.05
36	①高齢期の活動拡大の応援	3.08	4	20	2	0	17	3.03	3.13
37	②高齢期の生活と家族支援の充実	2.96	2	20	3	0	18	2.92	3.05
38	①健（検）診の実施と健康教育・相談の充実	3.19	6	19	1	0	17	3.18	3.28
39	②地域医療体制の充実	3.07	4	21	2	0	16	3.18	3.18
40	①人権文化が息づくまちづくり	2.89	4	17	5	1	16	3.08	3.24
41	②男女共同参画社会づくりの推進	2.62	1	15	9	1	17	2.92	2.97
42	③ユニバーサルデザインの普及、推進	2.46	1	10	12	1	19	2.76	3.00
基本施策 5		平均点	4 点	3 点	2 点	1 点	空白	24年度 平均点	23年度 平均点
地域のつながりを強める		3.06	(件数)	(件数)	(件数)	(件数)	(件数)	3.18	3.15
43	①地域コミュニティによる自治活動の展開	3.14	7	18	3	0	15	3.10	3.00
44	①NPO・ボランティア活動等の展開支援	2.97	5	18	6	0	14	3.18	3.30
45	②大学・地域・行政の連携強化	3.21	8	18	2	0	15	3.10	2.97
46	①地域の福祉力の強化	3.24	9	19	0	1	14	3.19	3.34
47	②地域防犯体制の強化と生活安全対策の充実	3.18	6	21	1	0	15	3.38	3.20
48	③地域防災・危機管理体制の強化	2.86	2	21	4	1	15	3.18	3.13
49	①協働まちづくり推進の体制強化	2.81	2	18	7	0	16	3.06	3.05
50	②行政サービスの利便性向上	3.10	8	16	5	0	14	3.23	3.20

※ 平均点は小数点第2位未満を四捨五入した数値

第 2 期山科区基本計画の実施状況に係る取組の評価について

1 現在の評価方法

「第 2 期山科区基本計画」に基づく「50 の取組」全てについて、各年度の達成度を 4 段階で評価していただいている。

評価に当たっては、「50 の取組」に基づく個別の取組の各年度の「実施又は未実施」を参考としていただき、委員としての実感から取組成果の達成度の評価をしていただいている。

【評価点】

- 4 点…できている。
- 3 点…どちらかというとできている。
- 2 点…どちらかというとできていない。
- 1 点…できていない。
- わからない（空白）

2 計画の進ちょく評価方法に係る意見（第 1 回山科区民まちづくり会議グループ別議論より）

（1）現行の評価方法について

①評価方法

- 学区の自治連の役員に集ってもらい、意見を出し合って回答した。

②評価した感想

【評価自体について】

- 評価は振り返りのいい機会だが、評価の方法については事務局の説明不足だ。
- 何点であればよいのかがわからない。
- 委員も変わるので、年度で個人差が出る。（厳しい人が多ければ厳しい結果になる。）
- 評価の際に、去年、おとしの結果を見ながら、今年はこんなものかと採点するパターンが多い。
- 過去の評価結果に引っ張られすぎるので、前年度、その前の年度の評価結果を載せることについては検討が必要である。
- 前年度の平均点や空白回答が多いことなどを見て、甘く回答すると、思いのほか平均点が上がると考え、あえて辛口回答をした。
- 実際と評価にかい離がある取組がある。（頑張って取組んでいるにも関わらず、評価が低い）

【採点する分野について】

- 自分が知っている分野は採点が厳しくなる。わからないところは真ん中ぐらいの評価になる。
- 自分がかかわっている分野は評価できるが、そうでない分野の評価は難しい。
- 委員以外の職員にも確認したが、組織として回答すべきところしか回答できなかった。特に行政関係者は、必ずしも区内に居住しているわけではないので、専門分野のみの回答にしてもらえたら、空白はなくなるのではないか。
- 評価する自信がない分野は、よく分からないけど、何か申し訳ないから、何となく無理やり点数を付けてしまうことがしばしばある。
- 分かるところだけで良ければ、もうちょっと気楽に評価が出来る。
- すべての項目に対し、回答していない人がいるのか。委員であるなら回答すべき

で、忙しくて回答できないということなら、委員を降りるべきだ。

【わからない（空白）という評価について】

- 「わからない（空白）」は、なるべく点数を入れるべきなのか、それともちょっとでもあやふやならば無理をして入れない方が良いのかわかりにくい。

【取組内容について】

- 取組内容が市全体の取組など実態がわかりにくい取組がある。もっと身近でわかりやすい取組をあげる必要がある。
- ちゃんと評価したいと思うが、事業名しか無く、規模や成果が分からない。
- 行為目標（事業の実施の有無）のみであり、その事業がどう効果があったのか（状態目標）がない。
- 目標設定などの具体的な記載がないため、どうしても主観的となり、評価しにくい。
- 取り組んでいる項目が多いと頑張っているように見える。

（2）見直しへの意見について

①項目について

- 評価者が自由記述をする欄があれば良い。そうすれば、今日の会議で出すような意見の多くを評価の時点でもらえる。
- 事業については分かるが、これに対して区民の意識がどう変わっているのかが分からないので、効果が分かるような視点を入れた方が良い。
- 13年度から継続しているような事業もあるため、取組項目を少し絞っても良いのでは。
- 具体的な数値目標が事業ごとに必要である。

②評価方法について

- 自分の住んでいる地域以外のことはわからない。他の地域を見て回ったうえで評価することができたらよい。
- 分野別に採点チームをつくって各学区を見て回ったり、取組されている方の意見を聴いて、そのうえで会議をして評価してはどうか。
- 委員だけに聞くのではなく、パブリックコメントのような形で、区民に意見を聞いた方が良い。
- 委員だけの評価ではなく、評価者の公募をしてもいいし、PTAや各種団体などが集まったときに評価してもらおうなど、多くの人に評価してもらってはどうか。
- 節目で区民アンケートを取るという意見もあったので、そろそろ、そういう時期かもしれない。

次年度に向けた議論について

次年度に向け、以下の事業について、グループに分かれて議論をしていただきます。

- 1 山科“きずな”支援事業【資料 1 参照】
- 2 防災【資料 2 参照】
地域の防災力アッププロジェクト
- 3 子育て事業【資料 2 参照】
やましなお誕生おめでとう事業及びやましな子育て情報発信事業
- 4 観光振興
山科・感動ツーリズム推進事業【資料 2 参照】
- 5 やましなGOGOカフェ【資料 2 参照】
- 6 第 2 期山科区基本計画の実施状況に係る取組の評価の見直し【資料 3 参照】